



Mitake
Sayaka
Salon

美竹清花さろん こけら落とし【第十四夜】

樋口一朗 & 守永由香

ジョイント
コンサート

-Piano-

2017年11月18日(土)

開場18:30 開演19:00 入場料4,000円/学生2,000円(全席自由席)

2016年10月30日。第85回 日本音楽コンクールピアノ部門 本選会での衝撃!



joint concert

樋口一朗 (ひとし いちろう)

1996年福岡に生まれる。桐朋学園大学3年在学中。
第24回九州山口ジュニアコンクール中学の部 最優秀賞 グランプリ受賞。第8回熊本谷川ピアノコンクール全賞 併せて 埼玉県知事賞受賞。第35回飯塚新人音楽コンクール第1位 併せて 文部科学大臣賞、朝日新聞社賞、飯塚市長賞、飯塚文化連盟賞を受賞。第85回日本音楽コンクール第1位併せて、野村賞、井口賞、河合賞、E・ナカミチ賞、アルゲリッチ財団賞を受賞。九州交響楽団、東京シティアフィル交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、セントラル愛知交響楽団と共演。銀座YAMAHAやKAWAI「ハワード」ペーゼンドルファー東京。また第19回別府アルゲリッチ音楽祭2017にてソロリサイタルをする。第13回茨城国際音楽アカデミーinからまにてかるま音楽賞受賞。NHK-FM「ワイルド・ソング」に出演。青柳晋、K.シチュエル・バコフ、V.オプテニコフ、A.ピサレフ、M.ヴォステレンスキー、P.ドゥバイソン、B.リグット、ジャン・クロード・ベステイエ、E.ヴィルサワーゼの各氏のレッスンを受講。
これまでに川口由美子、中村順子の各氏、現在岡本美智子氏に師事。

守永由香 (もりなが ゆか)

3歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部3年在学中。第22回日本クラシック音楽コンクール高校女子の部第3位。第67回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会第2位。第15回シエラ国際ピアノコンクールin ASIA 高校生部門アジア大会銅賞。第7回桐朋ピアノコンペティション第2位。第85回日本音楽コンクール入選。第10.11.12.13回 茨城国際音楽アカデミーinからまにてかるま音楽賞受賞。桐朋学園高校Students' concert、高校卒業演奏会、大学Students' concert、室内楽演奏会、桐朋ピアノガラコンサート、銀座山野楽器音大フェスティバル、現役音大生によるサロンコンサート等に出演。P.ドゥバイソン、M.ヴォステレンスキー、J.-C.ベステイエ、C.エルトン、V.トロップ、B.ベトルシャンスキー、B.リグット、J.ロイシュナー、C.M.カン、各氏のレッスンを受講。2017年度公益財団法人青山財団奨学生。
これまでに杉本安子、草冬香の各氏に師事。現在、岡本美智子氏に師事。

Profile



●ご予約/お問い合わせ **株式会社ILA** 070-2168-8484
(美竹清花さろん) 03-6452-6711

Webサイトからでもお申し込みいただけます。 <http://goo.gl/THkDFX>

美竹清花さろん こけら落とし【第十四夜】

樋口一朗&守永由香ジョイントコンサート

2017年11月18日(土) 開場 18:30 / 開演 19:00
入場料4,000円 / 学生2,000円(全席自由席)

Program *曲目・演奏順は変更になる場合がございます。

- モーツァルト：アレグレットによる12の変奏曲 変イ長調 K.500(樋口)
- ハイドン：ソナタ 第31番 変イ長調 Hob.XVI-46(守永)
- ショパン：即興曲 第3番 変ト長調 Op.51(樋口)
- ショパン：幻想ポロネーズ 変イ長調 Op.61(守永)
- ラフマニノフ：コレルリの主題による変奏曲 ニ短調 Op.42(樋口)
- リスト：巡礼の年 第1年「スイス」S.160 R.10より第9曲「ジュネーヴの鐘」(守永)
- リスト：超絶技巧練習曲 S.139 R.2bより第7番「英雄」(守永)
- グノー＝リスト：歌劇「ファウスト」のワルツ S.407 R.166(樋口)

2016年10月30日。 第85回 日本音楽コンクールピアノ部門 本選会での衝撃!

2016年10月30日——それは、わたしたちにとって改めてミッションを再確認せざるを得ない衝撃的な出来事があった日でした。

日本音楽コンクールは、日本における權威と伝統のある音楽コンクールの最高峰の一つといわれています。第1回が1932年、なんと戦前からスタート。歴史的に見てもとても由緒あるコンクールだということがわかります。過去の入賞者には、1965年第七回ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞、併せて最年少者賞受賞を果たし、日本のクラシック音楽業界において大きな功績を残した政・中村純子をはじめ、江戸京子、仲道郁代など、日本で活躍する名だたる音楽家の方々がずらり並び、若手音楽家にとって、音楽家人生の登竜門となる一ページともいえるでしょう。それだけに、約200人のなかから勝ち抜き、本選に残ったハイレベルなコンテストに毎回、注目が集まります。

昨年、第85回 日本音楽コンクールピアノ部門でも、新たな若い音楽家たちのドラマが生まれ、わたしたち聴衆はその感動の瞬間に立ち会いました。

今回のこけら落とし【第十五夜】は、そんな昨年の日本音楽コンクールで見事に第1位を獲得した樋口一朗さんと、入選の守永由香さんが登場

昨年のオペラシティ本選会での感動が今も鮮明によみがえります。最初に演奏したのが守永さんで、曲はシューマンピアノ協奏曲 イ短調 作品54。コンクールという緊張感あふれる場所で、しかもトップライターです。聴衆も心臓の音が聞こえそうなほどの緊張感のなか、演奏が始まりました。するとどこか物思いにふけるメロディーが印象的に心に響き、聴衆はみるみる彼女の表現するシューマンの世界へと誘い込まれていったのです!

「ああ、そうか、この作品は精神の病に苦しむ頃に作られた作品だった…」そんなことが頭に過ぎりました。守永さんのピアノの特徴は「豊潤な歌で魅了する旋律」とでもいうのでしょうか。たっぷりと歌い上げるのがとても魅力的なピアニストだと感じます。

そんな守永さんの演奏が終え、はじめてからコンクールのレベルの高さを感じ、緊張から解き放たれたように会場いっぱいにはしゃいだ拍手が響きました!

樋口さんが演奏したのは最後でした。ステージに出てきたときには「こんなに小柄で笑顔が素敵な男の子がラフマニノフ?!」と正直思いましたが、演奏が始まると、そんな印象を持っていたことすら忘れてしまいました。曲はラフマニノフピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 作品30。高度な技巧と、華やかな世帯には豊かな表現力が必要とされ、ピアノ協奏曲ではとても演奏が難しいといわれる有名な作品です。しかし、樋口さんの冒頭のノスタルジックな旋律に一気に心を奪われました。「色彩の輝やかなグラダーション」とでもいうのでしょうか。とても上品な表現力が最後まで魅力的な演奏でした。終演後はアプローズの嵐!

そして今回、そんな昨年の日本音楽コンクールで感動的な活躍をされた今を輝かせる若手音楽家たちによる贅沢なジョイントコンサートに注目が集まります。

樋口さんと守永さんも現在、横明学園大学音楽部に学ぶ大学3年生ですが、今回のコンサートの企画やプログラムは、実際に美竹清花さろんのピアノを演奏し、イメージを膨らませ、彼らが意図して考えた内容です。

「弾き手によって変わるピアノの音色の違い、みろしさを発見できるようなコンサートにしたい!」—そんな熱い思いを今回のジョイントコンサートというかたちで実現し、プログラムも実におもしろい内容となっています。

コンクールでは見られなかった彼らの「追慕の生演奏での魅力」に期待が高まります。

(美竹清花さろん主宰・見澤沙弥香)



世界に通用する才能溢れる
若手トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのごく
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨場感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、こだわり抜いた企画をお届けします。

美竹清花さろんでは、演奏レベルの高さにこだわった

“本物の音楽”を追求します。

歓談や飲食を通じた、

演奏者の人柄にふれる楽しさにも注目です。

誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ
株式会社ILA (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷 1-12-8 (〒150-0002)
☎ 070-2168-8484 / 03-6452-6711
Fax 03 (3409) 0188

